

## 令和元年度 第4回 運営推進会議開催報告書

会議名	大野和光園和らぎの里運営推進会議
施設名	指定地域密着型介護老人福祉施設 大野和光園和らぎの里
サービスの種類	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
会議開催場所	指定地域密着型介護老人福祉施設 大野和光園和らぎの里 地域交流スペース
開催日時	令和元年11月27日(水) 13:30～14:30

### <運営推進会議出席者>

構成区分	氏名	備考
利用者の家族	小池ひろ子様	
利用者の家族	井尾のり子様	欠席
地域住民の代表者(春日三丁目上区区长)	門前豊治様	
地域住民の代表者(大野地区民生児童委員)	松原昭雄様	
大野市市民福祉部 健康長寿課	今西叔恵様	清水幸恵様代理

### <施設職員出席者>

職種	氏名	備考
和らぎの里施設長	角田貴美子	
機能訓練指導員(課長) (会議録作成)	佐藤さおり	
介護相談員(課長補佐)	加藤隼一	今月から出席
介護員(課長補佐)	北村麻子	

### <議事録>

#### 1. 和らぎの里 施設長挨拶

- ・ 小池ひろ子様、11月末日で運営推進会議委員退任される。  
次の委員は決まっており、承諾も得ている。
- ・ 松原昭雄様、民生委員退任のため、11月末日で運営推進会議委員退任される。

#### 2. 活動報告について

※別紙参照

- ・ 入所者、短期利用者状況
- ・ 医療状況
- ・ 行事活動状況
- ・ ボランティア受け入れ状況
- ・ その他の報告
- ・ 事故報告について詳細説明
  - 転倒 5件
  - 投薬忘れ 1件
  - 物損 1件
- ・ 研修内容

#### 3. 活動報告への質問や意見、その他意見交換

☆Q 和らぎの里の現在の入居者の男女それぞれの人数を教えてください。

A 男性9名 女性20名である。

☆ 行事活動状況の「いなやまこども園訪問」の写真では利用者の表情がとても良い。

- ・ いなやまこども園の園児の訪問は毎年あり、歌や踊りの披露、肩たたきや手遊びでお年寄りとのふれあいがあり、利用者はとても喜ばれ、毎年楽しみにされている。
- ・ 園児もお年寄りとのふれあいでは笑顔が多く、とても雰囲気が良い。

☆Q 「きちんと座る」はどんな研修内容か。

A 介護や医療の現場では寝たきを予防するためにベッドから離れて車椅子に座ることを推奨してきたが、現在は全国的に座ったっきりになっている。  
特養に入居されている方の多くは、ご自分で身体を動かすことが困難であるため、長く座っていることの苦痛から姿勢が傾いたり、ズレが生じてしまい、どんどん緊張が高くなる。それによって嚥下しにくくなったり、床ずれのリスクが高くなる等の弊害があることが全国的に問題になっているため、30分以上座らせっきりにしない、座位のレパトリーを増やしましょうということを学んだ研修であった。  
篠座特養と和らぎの里合同勉強会では、伝達研修として職員自身が円背姿勢になって動けない辛さを体験し、弊害について学んだ。辛さを体験することで、座ったっきりの改善に向けて考える機会になった。

☆Q 利用者の水分1500ml摂取の取り組みはまだおこなっているのか。

A 現在は1500mlを基本に、その方の体調や排便状況を見極めて、その方に合った量で対応している。その方の尊厳を大切に、下剤を使用せずにトイレに座っての自然排便、運動、常食に向けた自立支援の取り組みは平成24年から継続している。

☆Q 褥瘡を発見した時の対応はどうしているのか。

A 発症した時には医師の指示を受け、看護師が処置をおこなっている。  
現在和らぎの里は褥瘡発症者なく、適時の体位変換やポジショニングやズレの無い介助で防ぐことができている。

☆ 昨日で入居者、職員のインフルエンザ予防接種は全員終了した。

・現在篠座本体、和らぎの里の両施設とも、入居者、職員のインフルエンザ発症者はいない。